

## ダリア ダリーナマキシシリーズ

### —栽培資料—

挿し木：温度は 20℃が適し、24℃以上になるようなら換気を行います。84 穴よりも大きい穴のプラグトレイを使用し、ビニールで 2～3 週間覆います。挿し木から移植までは 3～4 週間です。

挿し木用土：一般的な軽めの調整ピートを使用します。そのままでも充分使われますが、石灰等を使用して pH を 6.0～6.5 に調節すると更によいでしょう。

移植：苗が安定して立つ様、十分な深さに植えることが重要です。鉢サイズは 18cm が適しています。

スペーシング：根付苗の移植から 1 週後（挿し木から 4～5 週後）に、スペーシングを行います。温度さえあれば生育は早いので広めにスペーシングしてください。

灌水：灌水は定期的に行います。乾燥させすぎると生育が弱々しくなります。逆に、特に弱光下での過灌水は徒長につながります。特に弱光下では注意してください。

栽培温度：スペーシングを行った後は、日中、夜間とも 17～18℃に保ちます。換気を行う場合は 22℃に保ちます。低めの温度で栽培すると、時間はかかりますがコンパクトな株になり、高めの温度で栽培すると短期間で仕上がりますが、徒長する傾向にあります。

肥料：N:P:K=100:13:90 の組成のものが適します。Ca 要求度は高めです。EC や pH を週 1 回程度チェックすることをお勧めします。

移植後の温度管理：移植後は昼夜通じて 17-18℃を保ち、22℃以上になるようなら換気を行います。ある程度温度が低いほうが株はコンパクトになり生育は緩慢になります。逆に温度が高いと徒長しやすくなります。

日照／日長：ダリーナは光要求度の高い植物です。遮光の必要はありません。温室のガラスをきれいに保ち、できるだけ多く日照を確保するようにします。30000～40000 ルクスくらいあってもよいでしょう。逆に 3000～4000 ルクス程度の場合は、14～15 時間の日長が必要

となります。日照量が少ないと栽培期間は長くなります。このため、1月から4月頃までは補光を行うと効果的です。特に東北以北の地域では冬場の補光をお勧めします。日長としては、12~14時間の日長下で最も早く開花します。9-12時間の日長では分枝が少なく、葉は小さくなります。また、低温期の短日下では球根が形成されます。長日下で地上部の生育や分枝が促進されます。

湿度：相対湿度を70~80%に保ちます。それより高めの湿度で栽培すると柳芽のような小枝が増え、加えて菌等に感染する危険性が増します。湿気の多い時期には特に注意してください。

生育抑制：通常はわい化剤で生長を抑制すると効果的です。特に日照不足の条件下ではなおさらです。ダリーナにはB-9の200倍程度がよく使われます。高さが6~8cmに達したときからわい化剤を使用できます。しかし、花芽が形成された後ではわい化剤は使用しないようにします。

	栽培時期	わい化剤使用回数
わい化剤使用の目安：	Week01~16	2~3回
	Week16~22	1~2回
	Week22~28	0~1回

	鉢上げ時期	開花時期
18cmポット栽培期間の目安：	Week01	Week10~11
	Week05	Week13~14
	Week10	Week16~17
	Week15	Week21~22
	Week20	Week25~26

\*天芽をピンチすることにより、これより約2週間長くなります。

病害虫：ウドンコ病、リゾクトニア、コナジラミ、ハモグリバエ、スリップス等に注意してください。薬剤を使用する際は、ダメージを避けるため、湿った葉にはかけないようにし、また直射日光の下に置かないで下さい。また薬害の恐れがあるので、蕾が見えてからは薬剤は使用しないで下さい。

この資料はデンマークでの栽培データをもとに作成されたものであり、栽培期間・温度等の数値が日本での栽培とは異なる場合もあります。弊社では本資料、及び本資料による栽培結果に関して一切の責任を負いかねますので予めご了承下さい。